

クリアビューC

クリアビューC HD22

クリアビューC One22

取扱説明書

Version 1.07

※この取扱説明書は、日本向けにアレンジし直したものであり、商品に添付しています取扱説明書とは、ページ数の違いや、一部改訂しているところがありますのでご了承ください。

Copyright 2016 Optelec, the Netherlands
All rights reserved



目次

1. はじめに.....	2
1.1. マニュアルについて	2
2. クリアビューC.....	2
2.1. 同梱されているもの	3
2.2. 各部の名前.....	3
2.3 梱包を解き、セットする	4
3. 操作説明	4
3.1. はじめに.....	4
3.2. コントローラーの簡単操作.....	5
3.2.1. 電源の入り切り.....	5
3.2.2. 倍率の調節	6
3.2.3. 映像モードの切り替え.....	7
3.2.4. ライトの入切.....	8
3.2.5. ワイド表示機能	8
3.2.6. スポットライト機能(位置表示)	9
3.2.7. XYテーブル(読書台)のロックとブレーキ制御.....	9
3.3. コントローラーの高機能操作.....	11
3.3.1. 画質の調整	11
3.4. ラインマーカーとマスキング	12
3.5. ラインマーカー/マスキングの位置調整	12
3.5.1. メニューを開く.....	13
3.5.2. コンピューターおよび外部ソースとの映像の切り替え.....	13
3.5.3 .オートフォーカスのロック機能.....	14
3.6. コントローラーのバッテリー	14
4. クリアビューCメニュー	16

メニューを開く.....	17
メニューを選ぶ.....	17
メニューモードを終わる.....	18
メニュー: brightness(明るさ).....	18
メニュー: colors(色).....	19
メニュー: light(ライト).....	20
メニュー: standby(待機モード).....	21
メニュー: power off(電源オフ).....	22
メニュー: keylock(操作ボタンのロック).....	23
メニュー: reset(リセット).....	24
メニュー: information(インフォメーション).....	25
メニュー: exit(メニューの終了).....	25
5. モニターの調整.....	26
6. 持ち運び用取っ手.....	27
7. コントローラのペアリング.....	28
8. 仕様.....	31
9. 故障と思ったら.....	32
10. 安全なご使用.....	35
11. カスタマーサポート.....	37

1. はじめに

Optelec 社によって開発された視覚障害者用読書器“クリアビューC (ClearView C)”をお選びいただきありがとうございました。クリアビューCは、読む、書く、写真を見ることを可能にし、仕事をするなど多くのことを可能にします。クリアビューCは、文字や物や画像を、拡大し、強調して、あなたの好ましい色の組合せで、明るさとコントラストを調整して表示することができます。操作は簡単ですので、自宅でも、職場でも、学校でもご使用いただけます。

クリアビューCは、使いやすさ、快適な読書と最大作業空間の確保に焦点を当てたユニークな人間工学に基づいたモジュラー設計です。高品質なXYテーブル(読書台)は、カメラの下で滑らかに文章や対象物を動かすことができます。すべての操作がひとつに統合された使いやすいコントローラーは、「簡単操作」と「高機能操作」を切り替えて、直感的な感性で操作することができます。クリアビューCのユニークなデザインは、快適な読書姿勢をお約束し、あなたのご自宅のインテリアの一部となります。

1.1. マニュアルについて

このマニュアルは、クリアビューCの機能と操作をご理解いただくためのものです。ご使用前に最後までご一読ください。

ご使用方法に関するご質問やご意見は、最後のページに記載されているお客様相談室またはお買い求めの販売店までご連絡ください。どうぞクリアビューCを十分にご活用ください。

2. クリアビューC

クリアビューCは、ユニークなCフォルム(C型形状)デザインで、従来型の形状の視覚障害者用読書器に比べ、より快適な読書と、より広い作業スペースを提供します。

クリアビューCは、簡単操作と高機能操作の2通りの操作の選択ができ、お部屋のインテリアと調和します。

2.1. 同梱されているもの

クリアビューCの梱包には次のものが入っています。

- クリアビューC本体
- 電源コード
- コントローラー(ボタン電池 CR2025×2個 内蔵)
- コントローラーの操作説明シート
- 取扱説明書
- 品質保証規定兼保証書・修理保証サービス登録書

もし、上記のものに欠品がありましたら、販売店または最後のページにあるお客様相談室にご連絡をお願いいたします。

2.2. 各部の名前

次の写真は主要な部分を示しています。



- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. モニター※ | 8. カメラ・ボックス |
| 2. XYテーブル(読書台) | 9. HDMI OUT |
| 3. C型アーム | 10. HDMI IN |
| 4. コントローラー | 11. 電源 IN |
| 5. 左右/前後ブレーキレバー | 12. 電源 OUT |
| 6. 取っ手 | 13. 使用しません(メンテナンス用) |
| 7. 主電源スイッチ | |

※右下面のスイッチ類は操作できません

2.3 梱包を解き、セットする

クリアビューCは、あらかじめ組み立てられて、ひとつのボックスに梱包されて出荷されます。使用開始のための準備は、クリアビューCを梱包箱から取り出し、電源コードをコンセントに差し込み、電源コードの反対側を本体ユニットの電源ソケットに差し込むだけです。

クリアビューCの電源を入れるときは、次の手順で進めてください。

- 電源コードのプラグをコンセントに差し込む
- カメラ・ボックスの左側面にある主電源スイッチを入れる

3. 操作説明

3.1. はじめに

クリアビューCを使うときは、両手をXYテーブルの手前の部分に置くとボタン操作と連続したXYテーブルのスライド操作が容易です。

クリアビューCには、ワイヤレスのコントローラーがXYテーブルの手前の中央部に組み込まれています。このワイヤレスのコントローラーの「Optelec」のロゴが見える向きで、XYテーブルにセットされているときは、簡単操作が使えます。

高機能の操作をしたいときは、コントローラーを持ち上げて回転させ、5つの長方形のボタンが見える向きに置き直してください。

※コントローラーはワイヤレスですので、本体から取り外しても操作することができます。

3.2. コントローラーの簡単操作

コントローラーを簡単操作で使うときは、「Optelec」のロゴが見える向きで、XYテーブルの手前の中央部にキチンとセットされており、3個の大きなボタンだけが上にある状態にしてください。



3.2.1. 電源の入り切り



電源を入れるときは、コントローラーの真ん中の大きなズームダイヤルのとなりのオレンジ色の丸い電源ボタンを押してください。本体とモニターの両方の電源が入ります。そして前回電源を切ったときと同じ状態で立ち上

がります。カメラが映像を写し始めるまでのセットアップに、約5秒から18秒かかります。

電源が入らないときは、電源コードが正しく接続していて、モニターの後ろのカメラ・ボックスの左側の側面にある主電源スイッチが ON の位置になっていることを確認してください。

3.2.2. 倍率の調節



コントローラーの中央のズームダイヤルを時計回りに回すと倍率が上がり、反時計回りに回すと倍率が下がります。

※読書モード1～4では、低い倍率のとき、左右の端の部分が画面一杯に表示されません(クリアビューC HD22 のみ)

※倍率ごとのピントの合うXYテーブルからの高さは以下のとおりです。

拡大率	クリアビューC HD22	クリアビューC One22
最小倍率	約 16cm	約 7.5cm
最大倍率	約 12.5cm	約 6cm

3.2.3. 映像モードの切り替え



ズームダイヤルの内側の白いモードボタンを押して、初期設定では、3つの映像モードをグルグルと切り替えることができます。

設定変更は、「メニュー: colors(色)」をご参照ください。

最大5つの映像モードを設定することができます。

1. フルカラーモード:オリジナルのカラーで表示します。
2. 読書モード1:前景と背景のコントラストを強調するモードです。
写真とテキストは高コントラストの前景色と背景色で表示され、初期設定は、白の背景に黒色の前景です。前景色と背景色はメニューで変更することができます。
3. 読書モード2(オプション):前景と背景のコントラストを強調するモードです。写真とテキストは高コントラストの前景色と背景色で表示され、初期設定は、黒色の背景に白色の前景です。前景色と背景色はメニューで変更することができます。
4. 読書モード3(オプション):前景と背景のコントラストを強調するモードです。写真とテキストは高コントラストの前景色と背景色で表示され、出荷時は、設定されていません。前景色と背景色はメニューで変更することができます。

5. 読書モード4(オプション):前景と背景のコントラストを強調するモードです。写真とテキストは高コントラストの前景色と背景色で表示され、出荷時は、設定されていません。前景色と背景色はメニューで変更することができます。

3.2.4. ライトの入切



ズームダイヤルの内側の白いモードボタンを約4秒押しとライトを消すことができます。ライトの反射を一時的に排除することができます。

もう一度このボタンを押すと次の読書モードに切り替わり、ライトが再点灯します。約4秒間ボタンを押すと、ライトが点灯しますが、次の読書モードに進むことはありません。

3.2.5. ワイド表示機能



ワイド表示機能は、興味のある部分を見つけるのに役立ちます。

ワイド表示機能を起動するためには、青い四角のワイド表示ボタンを一度押します。ワイド表示機能が作動すると、自動的に最小倍率にズームアウトし、画面の中心を示す十字マーク(位置表示)が表示されます。XYテーブルを移動させることにより、十

字マークに読みたい部分を移動させます。この状態で、もう一度ボタンを押すと、十字マークの位置が、前の倍率に拡大ズームインします。

3.2.6. スポットライト機能(位置表示)



青い正方形のワイド表示ボタンを3秒間押すと、カメラの真下の位置が、赤いスポットライトで照らされます。カメラが写している位置を特定するのに役立ちます。例えば、書くとき、赤のスポットライトにペンを置くと、ペンが画面の中央に表示されます。もう一度このボタンを押すと、スポットライトが消えます。または、操作をしなくても30秒後に自動的に、スポットライトが消えます。

3.2.7. XYテーブル(読書台)のロックとブレーキ制御

XYテーブルの前の部分にある2つのスライドするレバーを操作して、XYテーブルを左/右方向と前/後方向に動くようにしたり、どちらかの一つの方方向だけに動くようにしたり、滑り具合を左右と前後で独立して調節することができます。どちらの方向にも動かないようにロックするなどの設定をすることができます。

2つのレバーがそれぞれXYテーブルの左右の縁側に広がる位置にあるときは、XYテーブルは左/右方向と前/後方向のどちらにも動かすことができます。

レバーをXYテーブルの真ん中に向けてスライドさせるほどブレーキがより強く効きます。左側のレバーは左/右方向のブレーキの調節をし、右側のレバーは前/後方向のブレーキの調節をします。

左/右方向のブレーキを最も強くするときは、左側のレバーをXYテーブルの真ん中の位置にしてください。前/後方向のブレーキを最も強くするときは、右側のレバーをXYテーブルの真ん中の位置にしてください。

ブレーキによるXYテーブルの滑り具合の調節やロックは、快適な読書、筆記や絵を描くときや趣味の工作などのとき、さらにクリアビューCを移動させるときやクリアビューCを使わないときに有効です。

※このロックとブレーキ制御を上手く使うと、読書のときの意図しないXYテーブルの蛇行を防ぐことができ、不快な船酔いのない読書が可能です。とくに日本語の縦書き文の読書に有効です。

3.3. コントローラーの高機能操作

高機能型の操作をするときのコントローラーは、5つの長方形のボタンが手前になり、3つの大きなボタン類が上部に見えている向きにし、XYテーブルの手前の中央部にセットします。



3.3.1. 画質の調整



文字やその他の画面に写っているものが見づらい場合は、画質調節をして、イメージを強調しシャープネスを向上させてください。

画質の調整をするには、最も左の突起と太陽のアイコンの白い画質調整ボタンを押してください。そのあとズームダイヤルを回して画質を調整します。3秒間操作されない場合は、ズームダイヤルは、元のズーム機能に戻ります。

3.4. ラインマーカーとマスキング



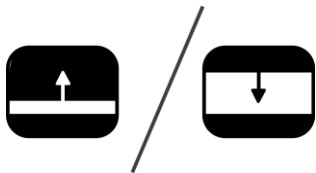
左から2番めの長方形のラインマーカー/マスキングボタンを押すと、ラインマーカー、マスキング、通常

のフルスクリーンのカメラ映像に切り替わります。

ラインマーカーは、文章を読みやすくし、筆記を容易にしたいときなどに使用されます。

マスキングは、画面の明るさを減らしたいときや文章の1行あるいは2行に集中する必要があるときに画面の一部をブロックするために使用します。

3.5. ラインマーカー/マスキングの位置調整



ラインマーカーやマスキングが起動したらと灰色のラインマーカー/マスキングボタンを3秒間長押ししてく

ださい。位置調整できる箇所が点滅して、上、下、左、右に移動できることを示します。ズームダイヤルを回して点滅しているラインまたはマスクを動かしてください。次に、ラインマーカー/マスキングボタンを押して、反対側のラインやマスクを、ズームダイヤルをもう一度回して調節してください。

位置調整を終了するためにはラインマーカー/マスキングボタンをもう一度押します。

3.5.1. メニューを開く



前面の中央にある「MENU」と表示されている青い長方形のボタンを押すと、いろいろな設定のメニューが表示されます。メニューについての詳細は、「4. クリアビューCメニュー」をご覧ください。

3.5.2. コンピューターおよび外部ソースとの映像の切り替え



クリアビューCにはコンピューターやビデオカメラ、カメラ付きスマートフォンなどの外部ソースを接続することができます。それらをモニターに表示させるときは、右から2番目の矢印のマークがある PC ボタンを押すごとにクリアビューC内蔵カメラの映像と外部ソースの映像を交互に切り替え表示します。

コンピューターやビデオカメラやカメラ付きスマートフォンは、モニターの後ろのカメラ・ボックスにある入力端子「HDMI IN(タイプ A)」に接続してください。

コンピューターの映像をクリアビューCで正しく表示させるためには、コンピューターの解像度の設定を 1920 x 1080 に設定してください。

注)コンピューターなどの機種によっては、解像度の設定を 1920 x 1080 に設定できない場合があります。

3.5.3. オートフォーカスのロック機能



クリアビューCは、常にシャープな画像を撮影する連続オートフォーカス機能を備えています。クリアビューC

は、連続オートフォーカスモードで起動します。

一番右の突起のある鉛筆アイコンのフォーカスボタンを押すと、オートフォーカス機能が動作してから停止し、焦点が対象物に固定されます。この機能は筆記や、絵を描くときや工作のときに役立つことがあります。オートフォーカス機能が停止になっている場合には、鉛筆のアイコンが表示されます。オートフォーカスを有効にするには、オートフォーカスボタンを押します。鉛筆アイコンが消えます。

3.6. コントローラーのバッテリー

クリアビューCのコントローラーには、ボタン電池 CR2025 を2個使用しています。これらの電池寿命は通常2～3年です。コントローラーのボタン操作が効かなくなったとき、2年以上電池を交換していない場合は、電池を交換してください。電池交換は、コントローラーの裏の側面の電池蓋を丁寧に開け、2個とも電池を交換してください。

1) コントローラーを裏返し、横長方向に置いてください。片方の側面に細長いバッテリーホルダーの蓋があることを確認して下さい。



2) 蓋をコントローラーの長い方向に静かに引き出してください。



3) 出てきたバッテリーホルダーに装着されている2個のボタン電池 CR2025 を取り外してください。



4) ボタン電池は、完全に平らな面(+)を上にしてバッテリーホルダーに2個装着し、ホルダーを元通りコントローラーにセットします。



4. クリアビューCメニュー

画面の明るさを調整する



読書モードの色を変更、または無効にする



ライトを点灯するまたは消灯する



自動的に待機モードになる時間を設定する



自動電源オフになる時間の設定をする



コントローラーの高機能操作をロック・解除する



工場出荷時の初期設定にリセットする



ファームウェアバージョン、システム情報を表示



メニューを終わる



メニューを開く



メニューを開くときは、コントローラーの高機能操作側の「MENU」ボタンを押します。メニューを閉じるときは、「MENU」ボタンをもう一度押します。

メニューを選ぶ



ズームダイヤルを回して、メニュー項目を切り替えてください。ズームダイヤルの内側のモードボタンで選択します。

メニューモードを終わる



コントローラーの「MENU」ボタンを押すことで、メニューを終了したり、前のメニューの画面に戻ったり、選択したことを取り消したりします。

メニュー: brightness (明るさ)



このメニュー項目は、モニターの明るさを調整します。

- コントローラーの高機能操作側の「MENU」ボタンを押し、メニューを開きます。
- brightness (明るさ) を表示しています。モードボタンを押して選択します。
- brightness と表示されていない場合は、ズームダイヤルを回して brightness を表示させてから、モードボタンを押して選択します。
- ズームダイヤルを回して、明るさのレベルを選びます。5段階の明るさが選べます。初期設定の明るさは、max (最大) です。
- モードボタンを押すと、選択が確定され、メニュー画面に戻ります。
- メニューボタンを押して、メニューモードを終了します。

メニュー: colors(色)



本品は、4つの読書モード1～4と、フルカラー(写真)モードがあります。

4つの読書モードは、それぞれ前景と背景の色を指定できます。

読書モード(読書モード1)だけで良ければ、他の3つの読書モードは表示されないように設定できます。

出荷時の設定は、フルカラーモード、読書モード1(白背景黒文字)、読書モード2(黒背景白文字)の3つのモードが表示される設定です。

- コントローラーの高機能操作側の「MENU」ボタンを押し、メニューを開きます。
- ズームダイヤルを回してメニュー項目を切り替えて、colors(色)を表示させ、モードボタンを押します。
- ズームダイヤルを回して、4つの読書モードから1つを選び、モードボタンを押します。
- 新しいカラーコンビネーションを選択するには、ズームダイヤルを回して、表示されるリストの中からカラーコンビネーションを選択します。
- 読書モード2、3、4は、「X」を選ぶと表示されなくなります。
- モードボタンを押すと、選択が確定され、メニューボタンを2回押して、メニューを終了します。

カラーコンビネーションのリスト

- Black - White (黒—白)
- White - Black (白—黒)
- Yellow - Black (黄—黒)
- Black - Yellow (黒—黄)
- Yellow - Blue (黄—青)
- Blue - Yellow (青—黄)
- Black - Red (黒—赤)
- Red - Black (赤—黒)
- Black - Green (黒—緑)
- Green - Black (緑—黒)
- Black - Pink (黒—ピンク)
- Pink - Black (ピンク—黒)
- Blue - White (青—白)
- White - Blue (白—青)
- Black - Amber (黒—琥珀)
- Amber - Black (琥珀—黒)
- Greyscale (モノクロ)

メニュー: light(ライト)

このメニューは、電源を入れたときのカメラの左右にあるライトの入り切りを設定します。

初期設定では、ライトはオンです。このメニューで“off”を選択すると、電源を入れた時のライトは切りとなります。

- コントローラーの高機能操作側の「MENU」ボタンを押し、メニューを開きます。

- ズームダイヤルを回してメニュー項目を切り替えて、light(ライト)を表示させ、モードボタンを押して選択します。
- ズームダイヤルを回して”on”を選択するとライトが点灯に設定され、”off”にするとライトは点灯しない設定となります。
- モードボタンを押すと、選択が確定され、メニュー画面に戻ります。
- メニューボタンを押して、メニューを終了します。

メニュー:standby(待機モード)



このメニュー項目は、節電のための待機モードになるまでの時間を設定します。待機モード作動中は、どのボタンを押しても、解除されません。初期設定は、15分間です。待機モードになるまでの時間は、5分、15分、30分と“never”(待機設定なし)が選べます。

- コントローラーの高機能操作側の「MENU」ボタンを押し、メニューを開きます。
- ズームダイヤルを回してメニュー項目を切り替え、“Standby”を表示させ、モードボタンを押して選択します。
- ズームダイヤルで、待機モードになるまでの時間を選択し、モードボタンで決定します。“never”を選ぶと待機モードが作動しません。
- モードボタンを押すと、選択が確定され、メニュー画面に戻ります。

- メニューボタンを押して、メニューを終了します。

※ ボタン操作をすれば、待機モードは作動しません。

メニュー: power off(電源オフ)



このメニュー項目は、自動電源オフになるまでの時間を設定します。

初期設定は、5分間です。この5分間は、15分間で待機モードに入り、そのあとカウントされる時間です。したがって初期設定では、操作されない時間が20分で自動的に電源が切れます。自動電源オフになるまでの時間は、5分、15分、30分と“never”(電源オフなし)が選べます。

- コントローラーの高機能操作側の「MENU」ボタンを押し、メニューを開きます。
- ズームダイヤルを回してメニュー項目を切り替え、“Power off”を表示させ、モードボタンを押して選択します。
- ズームダイヤルで電源が切れるまでの時間を選択します。“never”を選ぶと電源自動オフが作動しません。
- モードボタンを押すと、選択が確定され、メニュー画面に戻ります。
- メニューボタンを押して、メニューを終了します。

メニュー: keylock (操作ボタンのロック)



このメニューは、コントローラーの高機能操作のメニューボタン以外の操作ボタンのロックを設定します。

このロックを選択すると、画質調整、ラインマーカー/マスキング、PC、オートフォーカスの各ボタンの操作がロックされます。

コントローラーのロックを解除するときは、メニューボタンを5秒間長押ししてください。

コントローラーの高機能ボタンをロックする方法

- コントローラーの高機能操作側の「MENU」ボタンを押し、メニューを開きます。
- ズームダイヤルを回してメニュー項目を切り替えて、“keylock”を表示させ、モードボタンを押して選択します。
- ズームダイヤルを回して“on”を選び、モードボタンを押すと、選択が確定され、メニュー画面に戻ります。
- メニューボタンを押して、メニューを終了します。

コントローラーの高機能ボタンのロックを解除する方法

- コントローラーの高機能操作側の「MENU」ボタンを5秒間押します。

- ズームダイヤルを回してメニュー項目を切り替えて、“keylock”を表示させ、モードボタンで選択します。
- ズームダイヤルを回して“off”を選び、モードボタンを押すと選択を確定し、メニュー画面に戻ります。
- メニューボタンを押して、メニューを終了します。

メニュー: reset(リセット)



このメニュー項目は、出荷時の初期設定にリセットする

- コントローラーの高機能操作側の「MENU」ボタンを押し、メニューを開きます。
- ズームダイヤルを回してメニュー項目を切り替え、“reset ”を表示させ、モードボタンを押して選択します。
- 出荷時の初期設定に戻す場合は、ズームダイヤルで”yes”を選択します。”no”を選ぶとリセットされません。
- モードボタンを押すと、選択が確定され、メニュー画面に戻ります。
- メニューボタンを押して、メニューを終了します。

別の方法

- 電源が入っている状態から、電源ボタンを約 10 秒間(ライトが再点灯するまで)長押ししてください。

メニュー: information (インフォメーション)

このメニューは、本機のファームウェアのバージョンとシステムインフォメーションを表示させます。このメニューで変更をすることはできません。

- コントローラーの高機能操作側の「MENU」ボタンを押し、メニューを開きます。
- ズームダイヤルを回してメニュー項目を切り替え、“information ”を表示させ、モードボタンを押して選択します。
- 本機のファームウェアのバージョンが表示されます。
- メニューボタンを2回押して、メニューを閉じます。

メニュー: exit (メニューの終了)

このメニュー項目は、メニューの終了のためのものです。

- コントローラーの高機能操作側の「MENU」ボタンを押し、メニューを開きます。
- ズームダイヤルを回してメニュー項目を切り替え、“exit”を表示させます。
- モードボタンを押すと、選択が確定され、メニューが終了します。

または

- メニューボタンを押してもメニューが終了します。

5. モニターの調整

本機は、モニターの高さと角度を快適な読書位置に調整できます。モニターは、上下位置と角度(チルト)を快適なポジションに動かすことができます。

モニターをお好みの位置にするために、モニター左右の枠をしっかりと掴み、上下にモニターをスライドさせるか、モニターの傾きの角度を調整します。

※クリアビューC のモニターには、左右の首振りと90度回転の機能がありません。

ご注意

本機を設置する際は、机上に十分はスペースを確保し、他のものを机の上に置かないようにし、電源コードに余裕をもたせて設置してください。

机の面は、平でかつ水平に保ってください。

6. 持ち運び用取っ手

本機には、モニターの後ろに持ち運び用の取手が装備されています。けがを防ぐために、所定の位置に持ち運び用の取手をロックして、持ち上げる前に、2つのブレーキのレバーでXYテーブルをロックしてください。

持ち運び用取っ手のロック

- モニターを一番低い位置に動かします。
- モニターを押さえながら、後ろの取っ手を持ち上げるとカチッと音がし、取っ手がロックされます。
- XYテーブルの位置を中央に移動し、左右/前後のブレーキレバーをロックの位置に動かして、XYテーブルが固定されたことを確認してください。
- この状態で、安全に本機を持ち上げることができます。

取っ手のロック解除

- 取っ手を下に押し下げてください。

※本機を使用するときは、必ず取っ手のロックを解除してください。解除をしないとモニターの上下位置の調整がうまくできません。

7. コントローラのペアリング

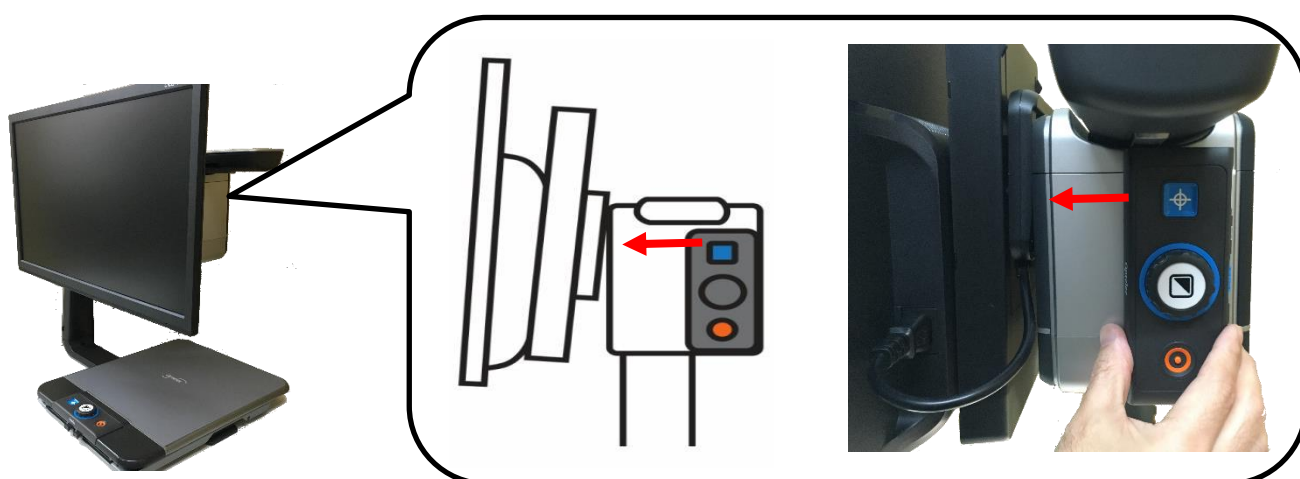
コントローラの紛失や故障などにより、新たなコントローラーと交換した場合は、コントローラーとクリアビューCをペアリング(関係づけ)する必要があります。

1. クリアビューCの電源を入れます。
2. コントローラーを垂直に保ち、モニターの後ろ側にあるカメラボックスの右横の上の方にコントローラーの裏面を当てます。

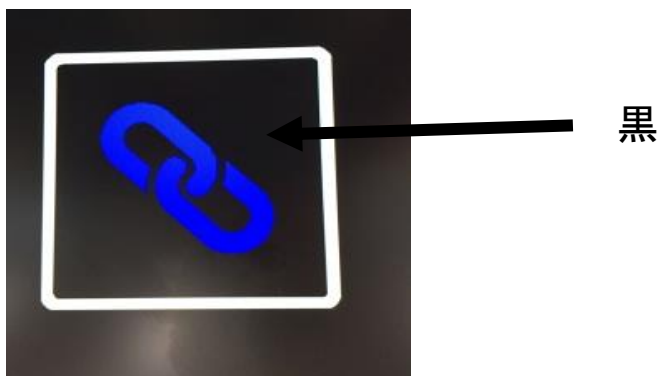
正常に認識すれば、3. の項目のアイコンが出ます。

認識しない場合は、モニター側にコントローラーを動かしてみてください。

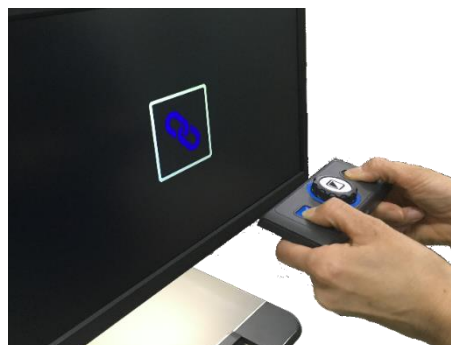
下さい。(←側へ)



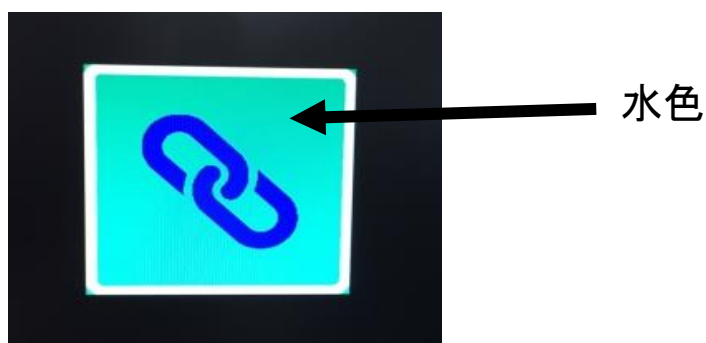
3. 画面にペアリングの手続きが始まったことを示すアイコン(黒)が表示されます。



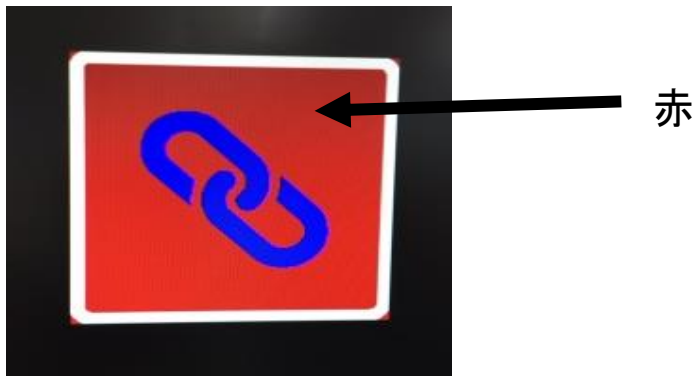
4. 上記のアイコンが表示されたら、カメラボックスからコントローラーを離して本体正面の位置から電源ボタンとワイド表示ボタンを5秒間同時に押しボタンを離します。



5. ペアリングが成功した場合、アイコン(水色)が表示され、消えます。



6. クリアビューCが認識しない、またはコントローラーがクリアビューCを見つけられない場合は、アイコン(赤)が表示され、30 秒以内に終了し、ペアリングアイコンが消えます。



※コントローラーが正しくペアリングされるまで手順 2～5 を繰り返してください。以下の失敗の原因が考えられます。

- コントローラーのバッテリーが空である
- 誤ったボタンが押された
- コントローラーが故障している

※画質の調整（太陽のマークのボタン）とオートフォーカスのロック機能（エンピツのマークのボタン）を同時に押された場合にもコントローラーの機能が停止する場合がありますので、そのような場合にもペアリングを行う必要があります。

8. 仕様

カメラ	オートフォーカス(焦点固定可能)
解像度	(クリアビューC HD22) 1920×1080 (クリアビューC One22) 1280×720
電源 (消費電力)	100V (クリアビューC HD22: 約 36.3W) (クリアビューC One22: 約 38.1W)
周波数	50 /60 Hz
使用環境	
温度	+10° C から +35° C
湿度	70%以下、結露なし
保管及び輸送環境	
温度	+10° C から +40° C
湿度	95%以下、結露なし
倍率	(クリアビューC HD22) 約 1.5 倍～約 80 倍 (クリアビューC One22)約 2.0 倍～約 75 倍
画面寸法	22型ワイド(475x269mm)
外形寸法	ベース:420 x 510mm(アーム部共) XYテーブル:420 x 320mm 高さ:約 510～約 670mm
重量	約 16kg

9. 故障と思ったら

9.1 出荷時の初期設定に戻す

もし動作の不具合が発生したら、内部のシステムを出荷時の初期設定にリセットすることができます。

- カメラ・ボックスにある主電源スイッチで、クリアビューCの電源を切って、3秒待ってください。
- 再び、主電源スイッチを入れてください。
- つぎに、映像が映ったあとコントローラーの電源スイッチを約10秒（ライトが再点灯するまで）長押しします。
- または、クリアビューCのメニューから、リセットをすることができます。

9.2 電源スイッチを入れてもモニターに映像が映らないとき

- すべてのケーブルと機器がきちんとつながっているか確認してください。
- モニターの後ろ側のカメラ・ボックスの左側にある主電源が入っているか確認して下さい。

9.3 コントローラーのボタンのすべてが作動しない

- コントローラーのバッテリーが空になった可能性があります。

コントローラーのバッテリーは、普通2～3年です。

9.4 映像のピントが合わない

- 鉛筆アイコンがモニターに表示されているのであれば、オートフォーカスを停止しています。オートフォーカスボタンを押して、連続オートフォーカスモードに戻ってください。
- モニターが汚れているか、曇っている可能性があります。柔らかな布で、モニターを拭いてください。
- カメラのレンズ部が汚れている可能性があります。柔らかな布で、レンズ部を拭いてください。

9.5 映像が灰色であるか、あるいはコントラストが低い

- 読書モードに切り替えるために、モードボタンを押してください。
- コントローラーで画質調整をしてください
- メニューで“brightness (明るさ)”を調整してください

9.6 コンピューターの映像が表示されない

- コンピューターの映像出力が HDMI 規格のケーブルで、クリアビュー C のカメラ・ボックスの HDMI IN (タイプ A 型) にしっかりとつながっていることを確認してください。

- コンピューターの解像度の設定が 1920 × 1080 となっていることを確認してください
- PC の接続をクリアビューC のモニターに直接つなぐことで、障害が発生していないか確認してください

9.7 XY テーブル(読書台)が動かないあるいはスムーズに動かない

- ブレーキレバーがテーブルの外側の位置に来ているか確認して下さい。
- テールにゴミやその他の動作を妨げるものがないか調査して下さい。

10. 安全なご使用

安全なご使用のために

本機を誤った使用方法でご使用頂きますと、火災や感電といった事故の原因となることがあり危険です。以下の注意事項を必ずお守り下さい。

- ◎ 「安全上のご注意」の内容を必ずお守り下さい。
- ◎ 万一、異常が起きたら、電源スイッチを切り、電源ケーブルをコンセントから抜き、その他のケーブルを本機から抜いた後にお求め頂きました販売店又は弊社までご連絡下さい。
- ◎ 故障が起きたら、修理が完了するまでは再度本機を使用しないで下さい。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために…

必ずお守り下さい

この「安全上のご注意」は本機を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	名称：注意 意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：禁止 意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：風呂場・シャワー室での使用禁止 意味：本機を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：接触禁止 意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：分解禁止 意味：本機を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	名称：強制 意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：電源プラグをコンセントから抜く 意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が書かれています。



警告



本機の分解や改造を行わない。火災や感電等の事故の原因となります。点検や修理は必ずお求めいただきました販売店または弊社に依頼して下さい。



本機を爆発物、引火物の周辺で使用しない。火災、爆発等の原因となります。



本機の内部に水や金属類（ヘアピン、クリップ等）を挿入しない。感電等の事故の原因となります。



万一水や金属類が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源ケーブルと接続ケーブルを抜く。
それから、お求めいただきました販売店または弊社まで連絡して下さい。



本機の電源は日本国内の商用電源（AC100V 50/60Hz）のみで使用。海外での使用やこれ以外の電源での使用は故障、火災や感電等の事故の原因となります。

安全上のご注意



電源ケーブル・接続ケーブルは机や棚、本機や他の重量物の下に挟まらないようにする。また、ストーブ等の熱器具の付近に近づけない。ケーブルが傷つきますと火災や感電等の事故の原因となります。



本機より煙が出ている場合や異常な音・臭いがする場合、本機を転倒・落下した場合やキャビネット等が破損したような場合にはすぐに本機の電源を切り、電源ケーブルと接続ケーブルを抜く。それから、お求めいただきました販売店または弊社まで連絡して下さい。異常状態や故障状態のまま使用しますと、火災や感電等の事故の原因となります。



雷が鳴りはじめたら、本機、電源プラグ、ケーブル等に触れない。感電の原因となります。



必ず付属のACアダプタを使用する。他のACアダプタを使用すると、火災や感電の原因となります。



注意



本機は、水平で本機の底面積とテーブルの移動範囲よりも十分に広い安定した机の上等で使用する。

傾斜のある場所や不安定な場所、重量物が積載できない場所で使用しますと、転倒等による事故の原因となる場合があります。



本機は縦置き設置です。本機の機体印刷文字が正立の状態を使用する。縦置き以外での使用は転倒等による事故の原因となる場合があります。



本機を気温・湿度の非常に高い場所やほこり・粉塵の多い場所で使用しない。火傷等の事故の原因となる場合があります。ご使用に適した温度は0~40℃、湿度は30~80%です。



本機を直射日光の当たる場所やストーブ等の熱器具の付近に置かない。本機内部の温度が上昇し、火傷や火災等の事故の原因となる場合があります。



ケーブルの着脱にはケーブルのプラグ部を持って確実にを行う。ケーブルを無理に引っ張ったり、無理に曲げたりしますとケーブルが傷つき、火災や感電等の事故の原因となる場合があります。



本機の電源の投入は各ケーブルの接続が全て終了してから行う。また、ケーブルの着脱は電源が投入されていないことを確認してから行う。感電等の事故の原因となる場合があります。



電源コンセントの差し込み口付近はほこりがたまらないよう、定期的に清掃する。火災等の事故の原因となる場合があります。



本機が出力する照明や表示光に目を近づけて長い時間覗きこまない。視力の低下などの事故の原因となる場合があります。



清掃等のお手入れの際には、本機の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてから行う。電源を投入したままや、電源ケーブルを接続したままの状態でお手入れをすると、感電等の事故の原因となる場合があります。



購入後の定期的な点検や内部の清掃は、1年程度を目安に、購入した販売店または弊社に相談する。本機の内部にほこりがたまったまま使用しますと、火災や感電の原因となる場合があります。



本機を足場や踏み台にしたり、上に乗ったりしない。故障や転倒による事故の原因となる場合があります。特に小さなお子様のいる環境ではご注意ください。



テーブル移動用のレールには手を触れない。挟まれて事故の原因となる場合があります。



本機にモニターテレビを積載して使用する場合には、モニターテレビが転倒しないよう、付属の保持バンドを必ず併用する。転倒による事故の原因となる場合があります。



本機を移動する場合には積載されたモニターテレビを本機から下ろし、電源ケーブル・接続ケーブルを抜いてから移動する。モニターテレビが積載されたままやケーブルが接続されたまま移動すると、感電や積載物の落下による事故の原因となる場合があります。



本機を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となる場合があります。



濡れた手で電源ケーブル・接続ケーブルの着脱を行わない。感電等の事故の原因となる場合があります。

11. カスタマーサポート

製造元： Optelec

輸入販売元：株式会社 システムギアビジョン

〒665-0051 兵庫県宝塚市高司1-6-11

TEL:0797-74-2206

FAX:0797-73-8894

URL: <http://www.sgv.co.jp>

Email: sgv-info@systemgear.com

お客様相談室:0120-886610

平日 9:00~12:00

13:00~17:30

(土曜・日曜・祝日は休み)